秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより
きらりNet

令和４年７月２２日
第１２５号
秋田県立秋田きらり支援学校
地　域　支　援　部

上肢の緊張が強い生徒の楽器演奏～タブレットとスイッチの活用～

上肢の緊張が強く、思い通りの楽器演奏が難しい児童生徒がいます。その際、タブレット端末にスイッチを接続することで、演奏が可能になります。現在のタブレット端末は Bluetooth でスピーカー接続が容易になっています。ステージ発表に臨んだ一つの事例を紹介します。

アプリですが、クリムゾンテクノロジー株式会社の「Percussions」という無料 IOS アプリを使用しました（打楽器のアプリは Android アプリを含めてほかにもたくさんあります）。アプリの画面には選んだ打楽器が示されますので、触れて音の鳴る部位に iPad タッチャーと棒スイッチ（各アシステックテクノロジー社）を接続し、楽器演奏の様子が生徒本人に確認できるように、タブレット端末を固定用のアーム（１００円ショップで購入）で車椅子に設置しました。Bluetooth スピーカーは生徒の車椅子後方に乗せて、これも本人が音を確認できるように（観客にも聴こえるように）しています。

IOS アプリ「Percussions」

iPad タッチャー、棒スイッチ等の接続(練習左、本番右)

合奏の練習を重ね、本番当日を迎えたＡさん（右写真中央）はとても張り切っていました。普段は左手でスイッチ操作をしているのですが、当日は右手の方が動かしやすいと自分自身で判断したようで、右手を大きく動かして教師に知らせてくれました。右の写真のように、棒スイッチを車椅子から外して教師が右手側に保持し、満面の笑顔と最高の演奏（操作）を観客に披露することができました。

（文責：自立活動部主任　佐藤篤）

令和４年度　ミニ学校展のお知らせ（７～８月開催分）

✨学校紹介パネル、児童生徒の作品や作業学習製品等を展示します✨

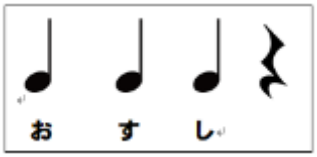
中央学校展	８月２７日（土）【ぽぽろーど】
かがやきの丘ミニ学校展	７月１４日（木）～７月２７日（水）【遊学舎県民ギャラリー】
きらりミニ学校展③	７月２９日（金）～８月２３日（火）【秋田温泉プラザ】

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

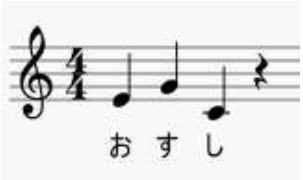
【高等部　音楽実践紹介】　　♪発声練習の取組♪

今年度の高等部音楽の授業は、全学年・学級合同で行っています。学習の流れは、『ウォーミングアップ（歌詞やリズムに合わせて体を軽く叩きほぐす）→発声練習→器楽合奏→クールダウン』の４つの内容で構成しています。本号では発声練習について紹介します。ここでは、音程や声量よりも『声を出すことを楽しむ』ことを目的としています。目の前の大きなモニターに一人一人の生徒が好きな物や人等の画像が表示されると「私の好きな物だ！」と笑顔になり、元気よく発声しようとします。次のステップでは、一定のテンポでビートが刻まれる中でリズミカルに単語を発声します。まばたきや舌の動きで表現する生徒もいます。更なるステップとして、簡易な音程を付けて発声します。このように生徒の意欲を大事にしたスモールステップによる発声練習が、やがて豊かな歌唱活動に繋がると考えます。　　（文責：高澤衣久子）

〈ステップ１〉
楽しく声を出して



〈ステップ２〉
テンポを意識して



〈ステップ３〉
テンポ＋音程を意識して

教育専門監のコーナー

『自己表現』と『音楽』

○「表現すること」は、自分自身を受け入れること。

心の内にある様々な感情。目で見て、感じて、聴いて、触れながら、音楽に合わせ歌ったり、体を動かしたりと、全身で楽しさを味わい、喜びを感じながら感情を羽ばたかせていく音楽の学びの中で、生徒の豊かな表現が育まれていきます。

○「自分を受け入れること」は、自分を慈しみ愛すること。

心の内にある様々な感情に蓋をせず、認め、自分が笑顔になること、自分の好きなこと、そして自分の心が喜ぶことを大切にするという、自分を慈しみ愛する音楽の学びの中で、生徒の自分自身を受け入れる気持ちが育まれていきます。

○「自己表現」を通して自分自身も相手も受け入れる。

想像力を働かせ、相手に想いを馳せる音楽の学びの中で、共感力、豊かな感性、そして思いやりや慈しみの心が育まれていきます。心の内にある様々な感情を見つめ、寄り添うことで、相手の心の内にある感情に気付き、相手を思う気持ちが想像力を育んでいきます。

参考：『音楽を通して自分らしく幸せに生きる子供の育て方』
（楠木　由希子　H-style アッシュスタイル）

《音楽の学び～自分らしく生きる》

明瞭なリズムと美しい旋律、音楽に合わせ楽器でリズムを表現する。音楽を聞き、それに合わせて体を動かす。感情や思いを自由に表現しながら、生徒のもつ個性を創造的に発揮していく高等部音楽の実践。大切にしているのは、子ども達が生まれながらにしてもつ表現意欲と創造力の芽生え。旋律を意識できるように、日常会話に用いる単語や短いことばに音を乗せ、発声を引き出していきます。歌唱のリズムに合わせ、気持ちのままに声を出し、体を動かし、そして楽器を演奏します。生徒のもつ想像力を刺激し、一人一人の創造性を豊かに広げていく音楽の活動。生徒は教師と音による関わりの中で、表現や技能を模倣し、工夫を重ねながら独創性を発揮していきます。

生徒は本物の音楽に触れながら、感情を素直に表現し、音楽への興味を広げていきます。音楽で培った、互いの違いを認め、尊重し、活かしあう学びは、互いの個性を認め、協力し合う姿となり、人との関わりに広がりをもたらします。

〈文責：二階堂　悟〉

教頭　　近藤　郁　　地域支援部主任　　大友　明希子
住所：〒010-1409　秋田市南ケ丘１丁目１番１号
E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp
電話：018（889）8573　　FAX：018（889）8575
「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。
http://www.kagayaki.akita-ref.ed.jp/kirari/index.html